

ご意見と事務局の考え

意見 21 (平成 16 年 6 月 受付)

(長岡市在住)

協議会だより(第 6 号)を拝見しました。議会案 36 号の議案についてなのですが、どうして町、村の名前が削除されたのですか?私は町の名前を誇りに思っています。そんな町の名前がなくなるのはとても残念です。どうして町の名前を残してはくたさらなかったのですか?小学校・中学校の名前に町の名前があるにも関わらず、町の名前が残らないのはおかしくありませんか?

事務局の考え

2 月 27 日の第 1 回長岡地域合併協議会で、新市の名称を長岡市とすることが決定しています。複数の市町村が合併し、市の名称がひとつになる訳です。これについてはご理解いただけると思います。

また、町名・字名については、それぞれの市町村が地域の意向等を踏まえ、重複町名等が生じないように調整を行った結果、議案の方針となったものです。(なお、議案は第 36 号ではなく第 35 号となります。)

越路町は「大字」の表記を削除するので、「越路町来迎寺」は「長岡市来迎寺」になります。ただし、重複する町名である「越路町大字中沢」「越路町大字中島」は、「長岡市越路中沢」「長岡市越路中島」となります。

合併して住所は変わりますが、越路という地域がなくなるわけではありませんし、いろいろな施設や会の名前に使われている「越路」という名称も、合併後もそのまま残っていくことになると思います。

なお、越路町における詳しい経緯は、越路町役場にお問合せいただきたいと思います。

意見 20 (平成 16 年 4 月 受付)

(長岡市在住)

長岡地域の合併に一つ疑問があります。それは長岡市とあまりにも離れた小国町との合併です。合併は本来生活圏を共にしている地域で行うのが基本です。山に囲まれ長岡市とも面していない小国町は本当に長岡地域と言えるのでしょうか?これでは中核市になり権限を増やしたい、財政基盤を充実させたいとしか考えていない合併ならこれに反対です。地域に密着し、福祉や教育に力を入れる自治体作りをお願いします。

事務局の考え

小国町は長岡市と直接接していないものの、行政面では、長岡地域広域市町村圏の構成市町村として、従来から長岡市とは密接な結びつきがあります。また、生活面では国道 404 号線を通じた結びつきがあります。

これを裏付けるデータとして、平成 15 年度小国町の調査結果によると、通勤者の 21%が長岡市に通勤、高校生の 37%が長岡市に通学、購買者の 40%が買回り品を長岡市で購入しているという結果が出ています。このように、小国町は、行政、経済、

教育などあらゆる面で長岡市と密接な結びつきがあり、生活圏を共にしていると言えます。

長岡市の経済活動は、決して長岡市単独で成り立っているわけではありません。小国町や周辺地域の皆さんに支えられているとも言えます。したがって、長岡市は中心都市としての責任を持ちながら、周辺町村と共存共栄のまちづくりを進めていくことが必要であり、それがひいては中越地域全体の発展につながると考えております。

意見 19 (平成 16 年 6 月 受付)

(見附市在住)

ヤフーで「見附市」で検索したら、長岡地域合併協議会が出てきました。その説明には、見附市も含めた 8 市町村での合併となっていました。今は 6 市町村になったのでは？

事務局の考え

ご連絡をいただきありがとうございました。

現在 Yahoo!JAPAN の情報提供サービスにおいて、当協議会ホームページが紹介されております。

これは、昨年 7 月に Yahoo!JAPAN から協議会事務局へ、協議会ホームページを紹介したいという通知があり、Yahoo!JAPAN の担当者が、実際にホームページを見て、タイトル、コメントなどが決められ、掲載されたものです。

当時の任意合併協議会の時は、現在の合併協議会構成 6 市町村に見附市、栃尾市を含めた 8 市町村で合併協議をしておりましたので「長岡市、見附市、栃尾市、中之島町、越路町、三島町、山古志村、小国町で合併を協議」という紹介内容でよかったのですが、現在は 6 市町村で合併協議をしておりますので、紹介内容が変更されるべきでした。

お知らせいただき、早速 Yahoo!JAPAN に連絡し変更の申し入れを行い、修正をいたしました。

今後、紹介内容に変更すべき事項がないか十分に注意をしております。

意見 18 (平成 16 年 5 月 受付)

(長岡市在住)

滝谷・六日市など長岡市南部は長岡市街より小千谷市街が近く、買い物など日常生活も小千谷に依存しています。体育館など公共施設は言うまでもありません。当面は自立する小千谷とも街づくりにおいては一体となって頂きたいと思っております。長岡北部の見附市よりの地域にも同様のことが言えると思っております。

事務局の考え

ご指摘のとおり、小千谷市、見附市は従来から買い物、通勤・通学、通院、公共施設利用などといった日常生活圏が長岡市と一体化しております。すでにこの二つの市を含む長岡市近隣の 13 市町村で長岡地域広域行政組合を設立して、人材育成やスポーツ振興、観光推進などにおいて広域行政を行っております。

長岡地域任意合併協議会の森会長は長岡市長として 40 万人都市構想を掲げ、小千

谷市に合併を呼びかけておりました。しかし、昨年11月に小千谷市は当面の間、自立していくことを選択しました。また、見附市につきましても、昨年12月に住民と議会の意向で長岡地域任意合併協議会を離脱しました。

市町村合併は、それぞれの市町村が十分協議して判断する問題ですが、長岡地域としては、他市町村との合併については「門は閉ざさない」方針が確認されています。

小千谷市、見附市が長岡地域に加われれば30万人都市となり、中越地域全体の発展につながるより良いまちづくりが可能となります。しかし、たとえ合併とならなくても、長岡地域はこれらの市と連携して、広域的な施策を行い、魅力的なまちづくりを目指していきたいと思っております。